

**LA-2110、LA-2111、LA-5110、LA-5111、LA-5120 騒音計
時間率騒音レベル L_x の連続保存**

LA-2110、LA-2111、LA-5110、LA-5111、LA-5120 騒音計

時間率騒音レベル L_x の連続保存

メモリーモード「AT- L_x 」を使用して、10 秒間の時間率騒音レベル L_x データを連続保存する方法を説明します。

L_x 測定では L_{01} 、 L_{05} 、 L_{10} 、 L_{50} 、 L_{90} 、 L_{95} 、LO（最小値）、HI（最大値）、AV（平均値）が同時に測定保存されます。

測定条件

| | |
|-------------|-----------|
| 動特性（時間重み特性） | FAST |
| 周波数特性 | A |
| 測定時間 | 10s |
| Memory Mode | AT- L_x |

操作手順

1. 出荷時の条件で起動

〔2nd〕ボタンと〔CAL〕ボタンを同時に押しながら電源を ON します。この操作により、出荷時の設定条件で起動します。

電源 ON だけでの起動の場合は、前回電源を OFF したときの設定条件で立ち上がりますので注意下さい。

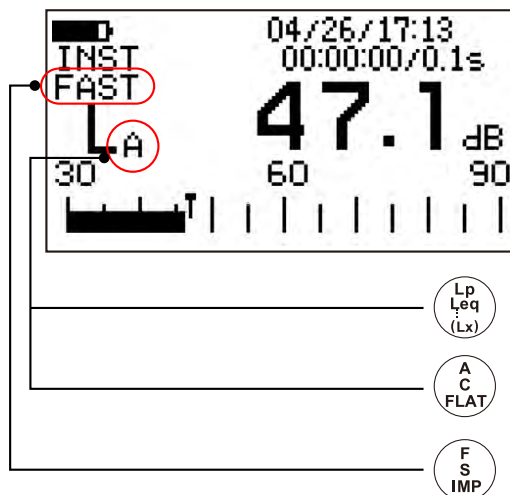
なお、ボタンを離すタイミングにより、画面に「CAL」または「2nd」の文字表示が残ることがあります。この場合、〔CAL〕ボタンを押すと「CAL」の文字が消え、〔2nd〕ボタンを押すと「2nd」の文字が消え、通常の測定画面に戻ります。

2. メモリーのクリアー

電源 OFF 後、〔FILTER FREQ <、>〕ボタンを 2 つ同時に押しながら電源 ON すると、全メモリーがクリアーされて起動します。

3. 周波数特性と動特性の設定

初期設定では、「周波数特性：A 特性」、「動特性：FAST」になっています。設定条件を変更する場合は次の操作を行います。



- 1. 【A/C/FLAT】ボタンで周波数特性「A」、「C」、「FLAT (P)」を選択します。工場騒音では通常「A」特性に設定します。
- 2. 【F/S/IMP】ボタンで動特性「FAST」、「SLOW」、「IMP (impulse)」を選択します。一般的は「FAST」がよく使われています。

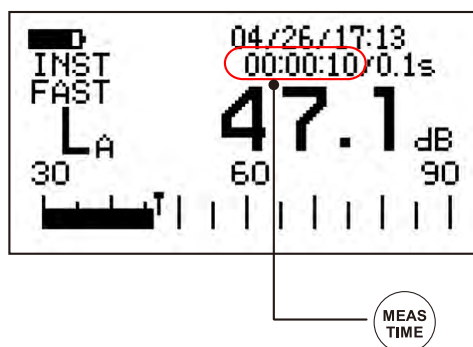
4. 測定レンジの設定

【LEVEL】ボタンで測定レンジを測定に適したノーマルレンジ（例：30 ~ 90dB）に変更します。

5. 測定時間の設定

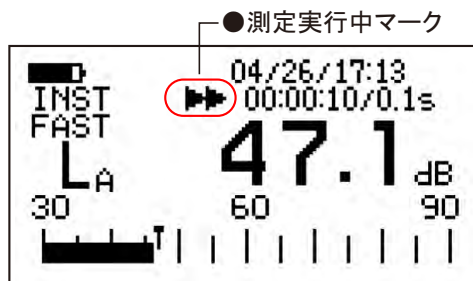
測定時間を 10s に設定します。

- 1. 画面右上の「2nd」文字が点灯している場合には、【2nd】ボタンを押し、「2nd」文字を消灯します。
- 2. 【MEAS TIME.】ボタンを何度か押し、測定時間を 10s に設定します。このボタンを押し毎に時間間隔が 0 1s 3s 5s 10s … の順に切り替わります。

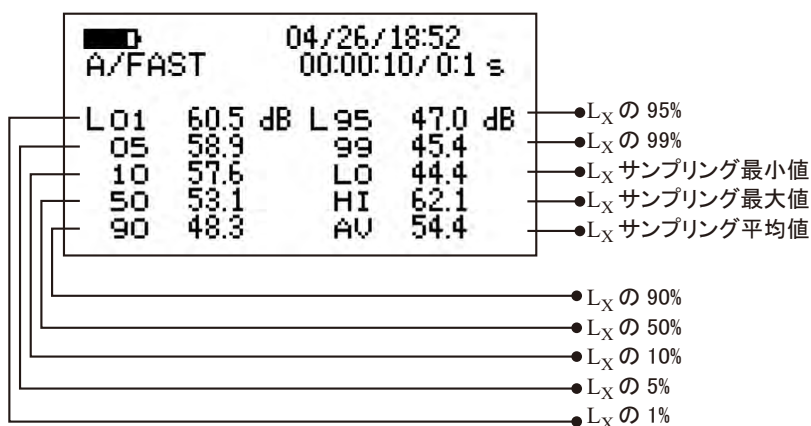


6. L_x (時間率騒音レベル) の試し測定

- 1. [START (RESET)] ボタンを押します。画面に「測定実行中」のマークが表示されます。10s 経過すると、「測定実行中」マークが消灯して、測定を自動停止します。



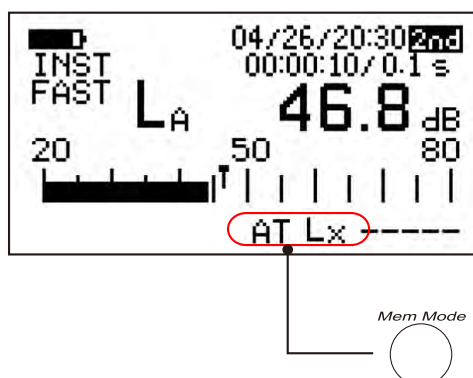
- 2. [LIST] ボタンを押し、リスト表示画面にします。
- 3. [Lp Leq ..(Lx)] ボタンを押し、時間率騒音レベルデータ (L_x) を表示します。このボタンを押す毎に測定項目が「瞬時騒音レベル LA LAeq LX 瞬時騒音レベル LA」の順に切り替わります。



- 4. [LIST] ボタンを押し、通常測定 L_A 画面にします。

7. 「ATLx」での連続測定 & 連続保存

- 1. [2nd] ボタンを押し、画面右上の「2nd」文字を表示した状態で、[Mem Mode] 青字ボタンを何度か押して、メモリーモードを「ATLx」にします。



- 2. 画面右上の「2nd」文字を表示した状態で、〔Store〕青字ボタンを押します。「STR」の文字が表示され、「2nd」文字が消灯し、保存が開始されます。なお、「STR」文字が表示されない場合は、測定のみ実行し、データ保存はされていないので、ご注意ください。10 s 測定の経過時間が表示されます。

10 s 経つと測定データ L_x などを保存し、メモリー番号が自動で 1 つ繰り上がり、再び次の測定を開始し、ストアを終了させるまでこれを繰り返します。データは最大 6600 個の保存が可能です。メモリーが一杯になると自動停止します。なお、新たに保存を開始するとメモリー番号は 0001 番から上書き保存されますので、ご注意ください。

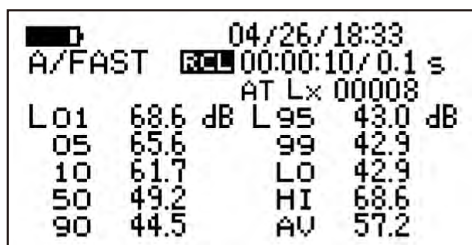


- 3. 〔2nd〕ボタンを押し、画面右上に「2nd」文字を表示し、〔Store〕青字ボタンを押します。「STR」の文字が消灯し、連続測定&連続保存は終了します。

8. 保存データの再生

保存したデータを再生するには、次の操作を行います。

- 1. 〔2nd〕ボタンを押します。画面右上に「2nd」の文字が表示されます。
- 2. 「AT L_x 」モードのメモリー番号が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、「2nd」文字を表示させた状態で、〔Mem Mode〕青字ボタンを押し、メモリーモードを「AT L_x 」にします。
- 3. 〔Recall〕青字ボタンを押すと、画面上に「RCL」の文字が表示されます。
- 4. 〔2nd〕ボタンを押し、画面右上の「2nd」の文字を消灯後、〔LIST〕ボタンを押してリスト画面表示にします。
- 5. 〔Lp Leq (L_x)〕ボタンを何度か押し、時間率騒音レベル (L_x) を表示します。



- 6. 〔2nd〕ボタンを押し、画面右上に「2nd」文字を表示し、「RCL」文字が表示された状態で〔Address〕青字ボタンを押すとメモリー番号が変更され、そのデータが画面に再生されます。なお、データが保存されていないメモリー番号は表示されません。
- 7. 〔Recall〕青字ボタンを押します。「RCL」の文字が消灯し、連続測定&連続保存は終了します。
- 8. 〔2nd〕ボタンを押して、画面右上の「2nd」文字を消灯しておきます。

9. 測定を繰り返す

測定を繰り返すには操作手順1から繰り返します。メモリーデータをクリアしないで新たに保存を開始するとメモリー番号は00001番から上書き保存され、上書きされないデータは残ってしまいますので、ご注意ください。全メモリーデータのクリアに関しては操作手順2を参照下さい。

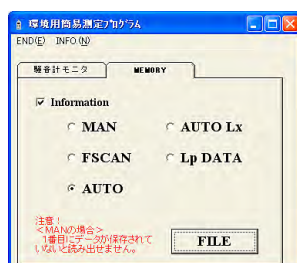
■メモリーデータをパソコンで読む

メモリーに保存したデータは、ホームページのサンプルプログラムを使用して、RS232Cによりお使いのパソコンに読み込むことができます。

＜LA-2110/2111/5110/5111/5120 騒音計用サンプルプログラム＞

https://www.onosokki.co.jp/HP-WK/c_support/freeprogram/download_top.htm

●サンプルプログラムのメモリー読込画面



●等価騒音レベルデータを読み込み EXCEL で開いた例

| ADDRESS | Leq | LE | LMX | LMN | LPK | L01 | L05 | L10 | L50 | L90 | L95 | L99 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 1 | 46.51 | 56.51 | 48.14 | 44.29 | 61.8 | 48.1 | 48.3 | 47.7 | 46.2 | 45.3 | 45.2 | |
| 2 | 47.85 | 57.85 | 53.52 | 44.91 | 65.56 | 53.2 | 51.1 | 50.3 | 47 | 45.8 | 45.5 | |
| 3 | 46.88 | 56.88 | 51.28 | 44.11 | 63.95 | 51.1 | 50 | 48.9 | 46 | 44.8 | 44.7 | |
| 4 | 46.89 | 56.89 | 52.78 | 43.76 | 63.89 | 52.3 | 51.4 | 50.9 | 45.4 | 44.5 | 44.2 | |
| 5 | 46.35 | 56.35 | 52.83 | 43.61 | 66.96 | 52.6 | 51.1 | 48.7 | 45.2 | 44.6 | 44.4 | |
| 6 | 45.9 | 55.9 | 48.64 | 44.13 | 66.79 | 47.9 | 47.3 | 47 | 45.7 | 44.9 | 44.6 | |
| 7 | 45.4 | 55.4 | 49.62 | 43.92 | 66.33 | 49.5 | 46.7 | 46.1 | 45.2 | 44.7 | 44.4 | |
| 8 | 45.09 | 55.09 | 47 | 43.97 | 66.19 | 46.8 | 46.1 | 45.6 | 45 | 44.6 | 44.5 | |

— 以上 —